

## 日本人類遺伝学会「貢献賞」募集のお知らせ

日本人類遺伝学会では 2015 年に「貢献賞」を創設し、広く募集する事になりました。

学会賞は研究を対象としていることを踏まえ、貢献賞ではそれ以外の業績を表彰します。

具体例としては、

- (1) 遺伝医学教育の実践面で顕著な功績のあった者、初等中等教育、医療系・医学系卒前卒後教育に於いて顕著な貢献を為した者
- (2) 人類遺伝学や遺伝医学分野で大学教授その他、有為な人材を育成・輩出したり、学会内外で人材育成の制度やシステムの構築・整備に尽力するなど、多大な貢献を為した者
- (3) 国民や行政など社会に積極的に関与し、啓蒙啓発その他の活動を通じて著しい社会貢献に寄与した者
- (4) 遺伝医療の臨床実践に関して顕著な功績のあった者
- (5) 人類遺伝学や遺伝医学に関わる諸分野で先導的役割を担い、著しい貢献を為した者

などが挙げられますが、それ以外でも著しい功績を認め、日本人類遺伝学会に、アカデミアコミュニティーに、そして広く社会一般に多大なる貢献を為した会員に対し、表彰を行います。

受賞に相当すると考える業績目録は、必ずしも上記(1)～(5)のいずれかに該当する必要があるわけではありません。一方で、いくつか重複して挙げられていても構いません。「貢献」という趣旨に合致すると総合的に判断出来る業績を評価します。

受賞資格：5年以上の当学会の会員資格を有し、引き続き会員である事。自薦・他薦可。

受賞者には、日本人類遺伝学会年次大会の授賞式に於いて賞状と記念メダル、また副賞として賞金50万円が授与されます。